

1995・7・23 Vol.9

夏号

編集・発行
東京都新宿区環境部
リサイクル推進課
〒160 新宿区歌舞伎町1-4-1
TEL 3209-1111㈹
年3回(7月、11月、3月)発行

8月から

びん・かん分別回収を区内全域に拡大します!

これが回収用コンテナです
52×36×32cm



読んで!
ここを

出し方のルール

- 容器が置いてない時には、出さない。
- 軽く水ですすいでから出す。
- 袋から出してバラでコンテナに入れる。
- びんの栓など簡単に取れるものは取ってから出す。
- 夜10時から朝6時までは近隣の迷惑になるので出さない。

☆回収曜日、回収場所等くわしくは、リーフレット・拠点地図をご覧になるか、リサイクル推進課にお問い合わせください。(リーフレット・拠点地図は、四谷・戸塚管内の各戸配布されます)。
☆事業活動から排出される空きびん・空き缶は、事業者が自己処理することが原則となっています。区の「びん・かん分別回収」には出さないようお願いします。
☆この事業が区全域で実施されても、東京都清掃局によるごみ収集は従来どおり行なわれます。

⑤回収するもの

ガラスびん

飲料用・食品用の
ガラスびん



ふーん。こういうものを
あつめるんだ。
ペットボトルはダメなのね。



アルミ缶

飲料用・
食品用の
かん



片町・主婦 一子さん (43)

「びん・かん分別回収」

ところで新宿区の
つていつたいなんなの?



片町・主婦 一子さん (43)

④説明しよう.....

「びん・かん分別回収」とは、ガラスびんと缶をごみとは別に区が回収し、再資源化する事業です。毎週一回、回収曜日(特別出張所管内ごとに曜日が異なります)の前日の午後に、黄色と青色のコンテナが所定の場所に設置されます。次の日(回収曜日)の朝9時からコンテナごと回収しますので、住民のみなさんは、コンテナが置いてある時間内に(夜間を除く)びんと缶を別けて、コンテナに入れてください。びん・缶は再び資源としてよみがえります。

西早稲田・学生 一子さん (20)



恋愛のコロシ劇場 絵:たけ



フリーマーケット 情報

月日	場所	問い合わせ先
7月 ○○23日	新宿野村ビル	3226-6800
○○30日	新宿西戸山公園	3226-6800
8月 ☆☆6日	明治公園	5228-3307
○○13日	代々木公園	3226-6800

○印は、リサイクル運動市民の会の主催
☆印は、日本リサイクル運動市民の会の主催
詳細は、上記問い合わせ先にお尋ねください。

耳寄り情報

ご家庭の中に、修理すれば
使えるものがありますか?

- △時間 午前10時から12時まで
- △内容 靴・傘・なべ修理・包丁・はさみ研ぎ、まな板削り(有料)
- △問合せ先 新宿区リサイクル活動センター (5330) 5374

受付日	引渡日	場所
8月3日(木)	8月17日(木)	新宿リサイクル活動センター
9月5日(火)	9月19日(火)	信濃町区民福祉社会館
11月6日(月)	11月20日(月)	新宿リサイクル活動センター
12月2日(土)	12月16日(土)	区設戸塚小売市場
2月2日(金)	2月16日(金)	赤城社会教育会館
3月3日(日)	3月17日(日)	新宿リサイクル活動センター

都合により日程が変更になることがあります。

編集後記

「すてないで」の発行も3年目を迎えた。残念ながら今年は、年3回の発行になってしまいますが、担当者一同、アイデアを出し合い楽しみながら読んで頂ける紙面作りに取り組んでいます。

気がついてみるとあとでいう間に夏、「夏はビールだ!」と言う方も多いとおもいます。暑い日のビールは最高だけれど、飲み終わった後のびんや缶は必ず資源回収へ。とはいって、なんてしないでね。



- 問題 ひん・かん分別回收を実施した理由として間違っているものは次のうちどれでしょう。
- ごみ減量とリサイクルの推進のため
 - 資源の有効利用のため
 - 第1回新宿区かんけり大会の準備のため

ベルギーの首都 ブルッセルのお祭り —ごみの出ないイベント—

松田美夜子
(リサイクル研究家)

ヨーロッパの各都市は、市庁舎広場と市庁舎が、そのまちの顔になっています。ベルギーの首都・ブルッセルの市庁舎は、数多く訪ねたヨーロッパの都市の中でも、最も圧巻を覚えました。

古色蒼然という言葉がピッタリの市庁舎は今から500年前に建設された壮大なゴチック様式。それ以来一度も破壊されずに、当時のままに保存され、今も使われているのです。95mの尖塔がそびえたつこの市庁舎の周辺の建物も全て1400年代から1500年代のものばかり。広場にいると、当時の文化や歴史が現代へと引き継がれていることを肌で感じさせられ、心が謙虚になってき

小説・「くうかん鳥」

声の主は「くうかん鳥」区役所が空き缶のリサイクルのために設置した缶の回収機である。私も「起してくれてアリガトウゴザイマシタ、今度リサイクルに協力しますよ」と感謝しながら家を出る。次日の朝も、また次の日も、月曜から金曜まで毎日聞いていた。感謝よりも苦痛を覚えるようになつてしまつた。ある朝、「ゴトン、ゴトン、ワイワイ、ガヤガヤ」で目が覚めた。いつもの声とちょっと違う。様子を聞き入っているとどうやら順番待ちでの口論らしい「交代しました」と、交換していなかった。正解者のなかから抽選で50名の方にリサイクル券をもらつた。私は山のようなくら空き袋を入れて立っていた。奇妙だった。

私はほんの十数年前だつたら空き缶ぐらいでだいの大人が口論まで

にはならないなどと思いつつ、家ではた。以上私がこの「くうかん鳥」で興味、翌日、私もくうかん鳥を利用してもうと朝早く家をでた。くうかん鳥はいつもと同じ頭を出したがいいよ私の番である。今日はスッパイ匂いが漂つていて、緊張しながらくうかん鳥の口にかかる声を入れる、いつもの声とともに券引換の補助券である。周りには1枚の小さな券が出てきた。図書券1枚の小さな券である。券を大量に貯めて現金化する人もいるという。私はこのせいだと直感した。「アキカーンカイシユウニゴキヨウヨクアリガトウゴザイマシタ」……

(この物語は事実を再構成した
フィクションです)

新宿区在勤 sankoo

論奏

私の出勤時間は朝の10時である。ここ半年間毎朝、「ゴトン、ゴトン、アキカーンカイシユウニゴキヨクアリガトウゴザイマシタ」の声で目が覚める。

声の主は「くうかん鳥」区役所が空き缶のリサイクルのために設置した缶の回収機である。私も「起してくれてアリガトウゴザイマシタ、今度リサイクルに協力しますよ」と感謝しながら家を出る。次日の朝も、また次の日も、月曜から金曜まで毎日聞いていた。感謝よりも苦痛を覚えるようになつてしまつた。ある朝、「ゴトン、ゴトン、ワイワイ、ガヤガヤ」で目が覚めた。いつもの声とちょっと違う。様子を聞き入っているとどうやら順番待ちでの口論らしい「交代しました」と、交換していなかった。正解者のなかから抽選で50名の方にリサイクル券をもらつた。私は山のようなくら空き袋を入れて立っていた。奇妙だった。

私はほんの十数年前だつたら空き缶ぐらいでだいの大人が口論まで

にはならないなどと思いつつ、家ではた。以上私がこの「くうかん鳥」で興味、翌日、私もくうかん鳥を利用してもうと朝早く家をでた。くうかん鳥はいつもと同じ頭を出したがいいよ私の番である。今日はスッパイ匂いが漂つていて、緊張しながらくうかん鳥の口にかかる声を入れる、いつもの声とともに券引換の補助券である。周りには1枚の小さな券が出てきた。図書券1枚の小さな券である。券を大量に貯めて現金化する人もいるという。私はこのせいだと直感した。「アキカーンカイシユウニゴキヨウヨクアリガトウゴザイマシタ」……

(この物語は事実を再構成した
フィクションです)

新宿区在勤 sankoo

世界のリサイクル事情 その9

ます。

私がベルギーへ滞在したのは、ベルギーの国民の祝日にあたる8月15日を中心とした7日間。この日は、聖母被昇天祭で、市庁舎広場は巨大な「フラワーカーペット」で敷きつめられます。前日から作業は始まっていますが、作業をするのは地域に住んでいる人々。バラの花のような大輪の色とりどりの本物の花で、南北70m、東西110mの大広場をうめつくすのです。

私は15日の夕方、再びこの広場に見学にでかけました。フラワーカーペットの中央には噴水もでき、照明もあてられてそれは豪華で美しいものでした。

大勢の人人が見物に来ています。観光客も大勢います。夜店もでていますし屋台もあります。

しかし、日本とちがうのは、使い捨てのびんや缶、紙コップや紙の皿が使われていません。物を食べながら歩くという人も多いのです。

広場には椅子とテーブルがで、ビールはジョッキで、コーヒーは陶器のコップでサービスされるので、とても優雅です。

日本のようにお祭りになると使い捨て容

器のごみが山のようにでるという国は、ヨーロッパの環境先進国ではほとんどないのです。

日本の使い捨て容器にあふれた無秩序な祭りのあり方を私は心からさびしく思いました。

イベントのごみを減らそうという取り組みは、ベルギーだけでなく、デンマーク、スウェーデン、スイス、ノルウェー、ドイツなどでは、あたり前のこととなっています。

では、ミュンヘン市のパンフレット「パーティやイベントのごみ対策」というパンフレットをご紹介します。

料理、飲み物、飾り物の三項目で整理され、全ての分野でプラスチックの使い捨ての容器は禁止になっています。香辛料のケチャップやカラシなども替え容器を使う。ビールのジョッキはデボジットをかける。そのかわり行政は自動皿洗機を提供する。スプーンやフォークを使う料理より、サンディッシュ類にする。招待客には、飲物容器を持参してもらうなどと記されています。

日本でもぜひ実現したいと思います。

体格に合わせて洋服直し

～新宿区障害者就労福祉センター「チャレンジワーク」～



チャレンジワークでは障害者の皆さんのが様々な事業を進めています。今回はその中の一つ、洋服修理を取りました。

ゆるくなったりきつくなったり寸法さえ直せば体にぴったり。一着一着職人さんがていねいに仕上げていきます。



このミシンは、元々足踏式の古いもの。仕立て職人だったメンバーが修理改造したそうです。



お問い合わせ
チャレンジワーク
03-3355-3233
新宿区原町3-84